



おおやっ子



TEL079-669-0016

養父市立大屋小学校 令和5年11月14日発行

マラソン大会、自分に負けず走りきりました!! 10/26

秋本番、谷々の紅葉も始まり、とてもきれいです。今年の秋は、コロナ禍が落ち着き、インフルエンザの流行が心配ですが、今のところ、いろいろな行事を行いながらしっかり学習できています。2学期の子どもたちは、心身共に大きく成長します。できることがたくさん増えてきます。ぜひ、子どもたちの良さや頑張りを認め、ほめてあげてくださいね!!

さて、雨天で一週間延期しましたが、10月26日(木)にマラソン大会を無事実施することができました。当日は、さわやかな秋晴れとなり、全校生が力いっぱい自分の限界に挑戦しました。沿道でのご声援が子どもたちの力となりました。ありがとうございました。また、交通監察係をお願いしました保護者の皆さんには、子どもたちのためにご支援いただき、本当にありがとうございました!!

今月は、11月17日(金)に学習発表会を計画しています。平日開催ですが、多くの保護者の皆さんのご参観をよろしく願いいたします。



今年も取り組んでいます。SDGs大屋の食育!!

大屋小学校が、特色ある学校づくりとして取り組んでいること、「上垣守国さん学習」となるもうひとつが、「食育」です。大屋には、「食」を体験できる素材や環境が、たくさんそろっています。もちろん、地域の皆さんの協力あつての「食育」です。いつもご支援、本当にありがとうございます。また、昨今よく耳にする「SDGs」とも結びつけて、地球環境問題を考えながら日々の学習を深めています。

そんな「SDGs大屋の食育」、この秋の取組をいくつか紹介します!!

イチジクほり体験 10/17

大屋イチジク生産グループの招待で、1・2年生が、イチジクほりをさせていただきました。児童は、イチジクを見つけては、大喜びでした。おみやげにたくさんいただいて帰りました。お家で、ジャムにもらった児童もいたようです。ありがとうございました!!



SDGs講演会 10/26

豊岡市より、SDGsの啓発活動をされている木築基弘(きづきもとひろ)さんにお越しいたき、4~6年生を対象に「食に関するSDGs」のお話しをしていただきました。食品ロス問題や給食の地産地消など、身近な話題で分かりやすく、しっかり学習できました。



黒大豆のさやほり 11/1

給食センターの羽瀧栄養教諭にお世話になって、1~3年生が、黒大豆のさやほりに挑戦しました。茎にたわわに実った大粒豆をひとつひとつ手でほります。この日、さやほりした黒大豆は、翌日 11/2の養父市内給食に出され、みんなで美味しくいただきました(^o^)



地域に生まれ、仲間と伸びる大屋っ子～R5学力テストの考察～

本年度の6年生「全国学力・学習状況調査(国語・算数)」の結果が届き、結果の考察をしましたので、遅くなりましたが報告します。令和5年度は、4月18日に実施しました。また今回から質問紙は、タブレット端末でのオンライン解答方式で行われました。

<本校結果の考察>

1 国語

○全国比が最も高かった問題

- ・思考力、判断力、表現力等「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」
(正答率68.4% 全国比+12.2)

○結果につながった指導

- ・物語文を要約して主題をとらえさせたり、短文で書かせたりする指導の継続。
- ・物語文の内容を時系列に整理し、登場人物の視点に沿って、人物に寄り添う学習の継続。

△全国比が最も低かった問題

- ・知識及び技能「情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる」
(正答率36.8% 全国比-25.2)

★改善への取組

- ・資料を読み、疑問点を出し合い、考えを深め、クラス全体でまとめる授業づくり。
- ・ふたつ以上の情報を観点別に関連付けたり、図で全体像を掴ませたりする学習の工夫。

2 算数

○全国比が最も高かった問題

- ・変化と関係「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる」
(正答率100.0% 全国比+11.5)

○結果につながった指導

- ・一人一台のタブレットPCを使い、数量の変化や図形の特徴について、視覚的に学習できている。
- ・学習の跡が見て分かる的確なノート整理ができています。

△全国比が最も低かった問題

- ・変化と関係「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答え方を式や言葉を用いて記述できる」
(正答率26.3% 全国比-29.2)

★改善への取組

- ・全国比が最も高かった問題と最も低かった問題が、同じ範疇(変化と関係)に存在する。低かった問題は、記述式であった。書く力の弱さが、正解を左右したと考えられる。国語だけでなく、全ての教科で書く力を伸ばすことが重要であると言える。

3 質問紙

○よい結果だった質問

- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
(当てはまる88.9% 全国比+6.3)
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
(当てはまる94.4% 全国比+19.1)



○よい結果につながった背景

- ・いじめに対する教職員の認識や指導観を共有し、全教職員で、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。些細なことも見逃さず、危機意識をもって日々の指導に当たり、事例を共有する組織である。また、教職員と子どもたちの信頼関係があり、個々を大切にする指導がなされている。ただ、「どちらかといえば、当てはまらない」の回答が、5.6%あった。こちらの結果に課題意識をもち、一人一人に向き合う指導が、今後も必要であると言える。
- ・日々の道徳授業実践や児童会活動、生活指導で、友だちを大切にし、人を思いやる意識の向上が図れている。また、上垣守国学習で、人の幸せのために努力を惜しまなかった守国の心を知り、誇りに思う心情が育っている。

<まとめ>

本年度、国語・算数の学力は全国平均辺りで、昨年度より伸びています。しかしながら、まだまだ課題が多いのが現実です。今後も更なる学力向上に向け、指導の工夫と改善に全力で取り組んでいきます。

今回注目したいのは、「3質問紙」のよい結果だった質問の二つ目です。全国比(+19.1)は、とても素晴らしい結果です。本校児童は、地域と関わりを多くもち、地域に見守られながら育っています。また、三世帯家庭が半数を占め、敬老の心や思いやりの心もしっかり育っているとと言えるでしょう。多くの人や友だちとの関わりの中で、仲間づくりを進め、思いやりや優しさを実感しながら、ふるさとの人、上垣守国さんの「人の幸せのために努力する」心情が確実に育っていると実感しています!!

<お知らせ>2学期末個別懇談会 13:30～ 12月18日(月)大屋・西谷
12月19日(火)口大屋・南谷 ご予定ください。